

# ありのまままで

④

## 性同一性障害と就労

心と体の性が一致しない性同一性障害（GI D）。ありのままを職場で打ち明けた当事者が、解雇されたり辞職を余儀なくされたりするケースが後を絶たない。法的には性別変更が認められ、社会の理解は広がりつつあるように見える。だが就労という個別の場になると、依然として差別や偏見が根深いことがうかがえる。その壁をどう越えていけばいいのか。当事者の経験を基に考える。（門脇正樹）

## 心を隠して

広島県内に住むシヨウ、性の心を持つ。2年前の父さん26歳仮名は、5月、機械の組立工場で女性の体で生まれたが男 契約社員として働いてい

# 打ち明けて疎外感傷に

しかし翌日、状況は一変する。「個人的なことを相談するのはいいんだけど、ここには動きに来ているんだから」。工場

たとき。年の近い女性先達と、自らの秘密を打ち明けた。いまは女性として働いているが、男性ホルモンを投与する治療の影響で体が少しずつ変化していること、乳房を切除する手術を受けようと思っていること。先輩はきかずき、「困ったことがあったらいつでも相談してね」と言ってくれた。働き始めて2カ月、初めて胸のつかえが取れた気がした。

を仕切る男性上司に厳しい口調で注意された。その日のうちに、複雑な機械を組み立てるセクションへ配置換えされた。「3日間ですべてこなせなかったら辞めてもらうから」本来は、ベテランから2週間みっちり指導を受けて覚える作業のはずだった。結局その仕事を習得できず、言われたままに契約を解除された。

広島市西区のタカシさん(39歳)も、GI Dであることを職場には伝えていない。体は女性心は男性で生まれた。ホルモン治療によって、いまは男性であることを疑われることはない。だから「あえて波風立てたくない」と語る。かつては女性として働いた時期もある。治療を始めGI Dを隠し通すのが難しくなると、自らの意思で職場を去った。20力所以、職場を替えた。傷つきたくなかったから。小学生のとき、男子から「気持ち悪い。あっち行け」と言われた。胸の痛みは、いまも消えない。



## 「波風立てたくない」

た55人に、GI Dについて職場で明かした経験があるアンケートで尋ねたところ、7割強の40人が「ある」と答えた。このうち、半数を超す22人はGI Dを理由に解雇された。辞職したりした経験があった。「いじめで鬱状態になり、就労できなくなつた」「妻を人権を履つた覚えはない」と言われた。自由記述には、打ち明けたことで疎外感を深める実情がつつられていた。

一方、誰にも明かしたことが「ない」とした15人の胸の内はこうだ。「かえって偏見の目で見られた」「（打ち明けたとしても）周りの人が困ると思う」…。

## 自らが行動 続けなければ

当事者の気持ちには現在、約40人の会員がいます。みんな、自分の内面にある性に正直で生きたいと考えていますが、それが周りの人たちに通用するのかがどうか自信を持てずいます。差別や偏見を恐れ、自分だけで抱え込んでいる人も少なくありません。私自身も、「打ち明けることの怖さ」を体験しています。4年前、岡山大病院で「心は女性、体は男性」のGI Dと診断されました。治療を始めると、当時の職場の同僚に事実を明かしましたが、その日を境に、周囲の私を見る目が変わりました。男のくせに、何で髪の毛を伸ばすんだ」と言われ、理解を得ることの難しさをかみしめたことでもあります。

当事者グループ「gid\_jp中国支部」  
米田未那支部長 59



私たちの支部には現在、約40人の会員がいます。みんな、自分の内面にある性に正直で生きたいと考えていますが、それが周りの人たちに通用するのかがどうか自信を持てずいます。差別や偏見を恐れ、自分だけで抱え込んでいる人も少なくありません。私自身も、「打ち明けることの怖さ」を体験しています。4年前、岡山大病院で「心は女性、体は男性」のGI Dと診断されました。治療を始めると、当時の職場の同僚に事実を明かしましたが、その日を境に、周囲の私を見る目が変わりました。男のくせに、何で髪の毛を伸ばすんだ」と言われ、理解を得ることの難しさをかみしめたことでもあります。